

「いわ100」を活用した中学生へのブックトーク

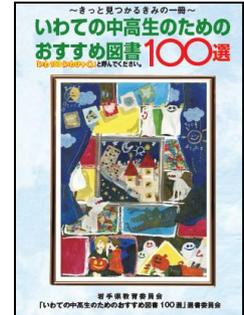
胆江ゆめネットワーク（奥州市）

目的 趣旨

- 1 子どもが自ら本と向き合う動機づけとする。
- 2 生徒による読書活動の啓発を進める。

対象

奥州市内
全中学校(12校)



学校・児童・生徒の様子

奥州市内全中学校でブックトークを実施しています。生徒の読書に対する意識・行動の変化とその具体的内容について、先生方へのアンケート調査より以下のことが出されました。

【生徒の意識・行動の変化】

- 本に対して興味を持つ生徒が増えた。
- 読書意欲の高まりを感じている。
- 読む本の幅が広がっている。
- 生徒が図書館に来ることが日常化している。

【具体的内容】

- 中学生が考えてほしいこと、中学生の戸惑い・迷いに応えてくれる作品を多様な視点から選び、紹介していただき感謝している。
- 一つのテーマでいろいろなジャンルの本を紹介していただき、生徒の多様な興味関心にこたえる内容であった。

※「ブックトーク」…テーマを決めた本の紹介



取組概要

奥州市では、地域読書ボランティア団体である胆江ゆめネットワークと連携・協力しながら、市内全中学校への読み聞かせやブックトークを実施しています。ブックトークは、全校・学年・図書委員などそれぞれの学校の要望に応じて実施されており、「いわ100」に掲載されているテーマでも行われています。

<平成27年度実績>

- ボランティア数…のべ314人(実人数48人)
- 実施日数…116日(読み聞かせ100回、ブックトーク16回)
- 実施校…奥州市内全12中学校
- 実施時間…朝読書時間、授業、放課後(委員会)等
- 依頼方法…各学校から希望期日、内容等を奥州市生涯学習スポーツ課へ依頼。同課から胆江ゆめネットワークへ連絡し調整後、対応可能なボランティアが学校に出向く。



【「いわ100」を活用したブックトークの様子】

● 市担当から（取組の成果と今後について）

奥州市の中学生の読書冊数は毎年伸びています。市では独自で「奥州市の中高生にオススメするブックリスト」を作成し、全生徒に配布してます。今後も「いわ100」と併せて活用を促進していくことで、中高生の読書活動を推進し、本が大好きな子どもたちの育成を目指していきます。